

地域ケア会議を通じて把握された地域課題について

(1) 多様化する相談や問題に関することについて

【現状と課題】

- ・協力してくれる親族のいない認知症高齢者や独居高齢者、高齢夫婦が増加しており体調不良や金銭管理など日常生活に支障が出てくる方が増えています。
- ・在宅での生活が困難になってきている方の中には、何らかのサービス利用が適切と周囲では考えていても本人や家族の受け入れ拒否があり、支援に結びつかずに地域からも孤立していく場合があります。
- ・精神疾患が疑われるも医療につなげることが難しい子と同居する親への支援は、親類や近所とも疎遠になっていることが多い状況です。

【今後の方向性】

- ・地域関係者、関係機関との生活状況を共有しながら見守り支援できるような体制づくりネットワークを構築していくよう努めます。
- ・地域、医療、福祉、介護など、関係機関と横のつながりを大切にし、方向性を決め対応していきます。親族がいない場合や支援が難しい場合は、早めに個別地域ケア会を開催し対応を考えていくように努めます。

(2) 地域での支え合いについて

【現状と課題】

- ・民生委員や地域の役員が変わっても統一した対応を実施していけるように、個人情報保護の観点もありますが、地域間での支え合いやしくみづくりが今後の課題であります。
- ・ゴミ出しや除雪など、ヘルパーでは対応できず、行政の支援事業にも該当するものがない現状にあります。
- ・地域によっては限界集落の今後のあり方についても話題にしています。

【今後の取り組み】

- ・地域での見守り体制が円滑にできるよう、日頃から民生委員や関係機関と情報交換・情報共有し連携できるよう検討していきます。
- ・地域住民の方々と生活支援コーディネーターとが連携し、地域での支え合いの仕組みづくりを一緒に検討するよう努めていきます。